

## ミニデイサービス便り

9月5日(木) 利用者さん・9名(男2姓7)NO.16

### 粘土作品に色付けを

前回のデイサービスで作った紙粘土作品に今日は色付け。ナスやぶどうにさつまいも、瓢箪・お皿・トルソーにお魚等に色を考えながら丁寧に本当にそれらしく色が付いていく。それぞれの努力で本物そっくりのとてもいい作品の出来上り。

利用者さんの出来たという満足げな顔はまわりをあたたくほっとさせる。

9月19日(木) 利用者さん・5名(男2、女3)NO.17

### みんなでクッキー作り

保育園の運動会が近づいており、運動場からは先生の掛け声と園児の足音や歓声が聞こえてくる。小さな子供達の音楽隊による行進は見事でじっと見入っておられるお年寄りには最高のプレゼントだった。

こんな声が聞こえる場所でデイサービスが出来ることを改めて本当に嬉しく思う。

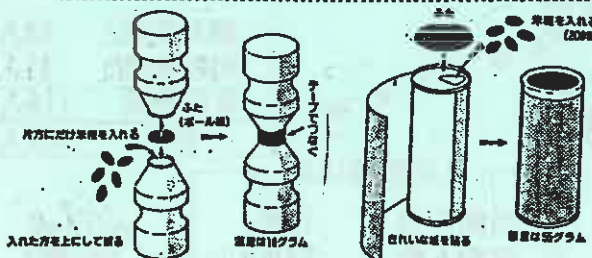
遊戯室の中では、私達も負けじと「まごころ体操365歩のマーチ」でからだほぐし。

午後にはみんなでクッキー作り。

日頃、食事作りになかなか手が出ない男性もクッキーの型抜きには懸命に参加。

手やズボンを白くしながら笑顔がたえない。その場で焼いて「3時のおやつ」にいただいた。勿論、味は格別だった。

次回のデイサービスは10月3日と17日です



ミニデイサービスでこの療法を取り入れていきたいと思っています



### 療育音楽のポイント

#### ◆ 楽しく唄って

呼吸器の強化と感情豊かに、ストレス発散

#### ◆ 楽器を指先で弾いて、叩いて脳に刺激を

「手や指を使う」が大切なポイント。楽器演奏は脳の活性化を促す効果的な方法のひとつ。楽器は両手を使って右左脳に刺激を

#### ◆ 身体にリズム感を

音楽で身体に外的リズムを感じ、身体の内面的リズム(心音、脈拍、呼吸、ホルモン分泌など)とのバランスを維持し、心身共に健康に。身体にリズム感をつけることによって生活のリズムを取り戻す

#### ◆ 相手のハンディキャップに合わせて

お年寄りには、身体全体と共に声帯も老化し、振動も遅く声も低い。歌を唄う時、成人の音域ではなく、お年寄りの低い音域にする。心を込めて相手に合わせる。勿論、楽器も必要な時には療育音楽用楽器を

当センター主催「講演と交流の集い」

## ◆ 療育音楽に大きな関心 ◆

県内外から関係者  
二〇〇名を越える参加者

去る九月二十一日(土)一宮スポーツ文化センターで行いました。当センター主催「療育音楽・講演と交流の集い」には二〇〇名を越えるたくさんの方々がお集まりいただきました。一宮市以外からの参加や、又いろんな分野の皆様のご参加をいただき、改めて療育音楽に多くの関心が寄せられていることを感じました。二十五年間この療育を各地で指導されてこられた赤星建彦先生(東京ミュージックボランティア協会会長)のお話しを交えての音楽交流は具体的な内容で私達に即実践できるものでした。ビデオによる療育音楽の実践風景や効果についての話しや障害の程度に応じて創意工夫した手作り楽器の紹介、高齢者に対する音程指導など多くを勉強しました。最後は全員が立ち上がって「四季の歌」を唄い、手も足も体全体をリズムにのせて会場が大きく揺れ、心身共にリハビリ交流会とすることが出来ました。

療育自立目録用楽器

誰でもリズムトレニングができるように工夫された楽器

#### ◆ 療育音楽用カステネット

従来の発想とは違い、大人の手合ったサイズで、音色も高齢者の耳にも聞きやすい低い落ち着いたもの。両手をつかえる人は左右一緒に使うことで手(指)の機能を高める目的で考案されています。

#### ◆ 療育音楽用すず

従来の子供のものより音を低くしてあり、持つところも大人の手でも充分にしっかり持てるように考案。色々な動きで手首を左右回転させ音をトレモロに、またシャンシャンときざんだり変化が楽しめます。

#### ◆ 療育音楽用タンバリン

普通のタンバリンが重い方や片手でも使えるということ柄のついたタンバリン。柄がついているので持ちやすい、小さくて軽いので長時間でも疲れないうなど考慮。

#### ◆ 手作りジュエツカ

ジュエツカの空き缶(アルミカンでないもの)に古米約二百粒を入れて(約五十五g)紙で蓋をします。少々長く持っても疲れません。空き缶を持っていない人には、乳酸飲料の空容器を二つつけ、間をボール紙で仕切り、片方だけ米を二百粒入れ、入れた方を上にして使います。両手に持って唄いながらスナップを使って前後に振ってリズムをとります。シェーカーはその人のハンディにに応じて、工夫して使います。